

# OISA NEWS

OITA  
INFORMATION  
SERVICE INDUSTRY  
ASSOCIATION

2023. 3

82

発行：大分県情報サービス産業協会  
会長 森 秀文  
<http://www.oisa.jp>  
編集：広報委員会  
事務局：大分市城崎町2-6-31  
(大銀コンピュータサービス(株)内)  
TEL (097) 537-5918  
FAX (097) 534-4545  
印刷：株式会社佐伯コミュニケーションズ

大分県情報サービス産業協会



## CONTENTS

2023年新年例会開催	2
特別講演	3
新任役員紹介	4
第34回OISA技術交流会開催	5
第29回OISA研修の実施	6
第31回サウンズコンテスト	7・8
第18回親睦ゴルフ大会・社会貢献活動参加	8

別府公園 (別府市)

2023年

# 大分県情報サービス産業協会

# 新年例会開催

2023年度の新年例会が、1月18日(水)に大分市のソレイユにて開催されました。

森秀文会長の新年の挨拶に引き続き、大分市副市長 久渡晃様、九州経済産業局情報政策課 課長 松本孝之様、大分県商工観光労働部 理事兼審議監 渡辺文雄様からのご挨拶を頂戴し、特別講演へと移りました。本年は、(株)Dirigo代表取締役 廣津留真理様に「英語が上手いとは何か」という演題でご講演をいただきました。



森 秀文 会長

## 会長挨拶

年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。  
改めまして皆様、新年おめでとうございます。

さて昨年は、コロナ対応3年、国内死者数6万人、大分県でも第8波では、一日当たり過去最高の感染者数を記録いたしました。春には2類から5類への引き下げが検討中ではありますが、まだまだ予断許さず、ロシアによるウクライナ侵攻は2月で1年、いまだ収束の目処がついていません。

また、円安は昨年初め115円が10月は151円という32年ぶりの円安、資源高(41年ぶり)、値上げ...等、ネガティブなニュースばかりの状況がつかまりました。

その様な中、明るいニュースでは、人々に元気を与えてくれたのがスポーツです。日本のプロ野球界では、村神様の史上最年少3冠王、王選手のホームラン記録更新。2刀流の大谷選手は世界を席卷。極めつけはワールドカップサッカー、ベスト8ならずも世界ランキング9位の目を見張る逆転劇。最後の最後まで諦めないことを教わりました。スポーツにビジネスのヒントがあるのではないかと感じました。

また、県政10大ニュースでは中小企業だけでなく、行政・自治体のDXもさらなる推進と宇宙港開港に向けた取り組みの加速があり、我々に希望、勇気、元気、活力を与えてくれました。

この様な中であって、デジタル庁発足後『デジタル田園都市国家構想』推進など、デジタル化の遅れを取り戻すため、産学官が力を合わせて、日本社会のDXに取り組んでいます。

DXは、今や経済規模とイノベーションを実現する推

進力と位置付けられています。このDX時代において、社会の変化はより加速度を増しています。このような環境変化の中、これまでの組織論や育成論だけでは通用しなくなる時代に入っています。

そこで、DXに伴う人財課題を解決する切り札の一つといわれているのが「リスクリング」です。企業が生き残るために、最も重要なテーマは人財育成であり、個人の成長と企業の成長を同時に達成するために「リスクリング」は必要不可欠と考えます。

DX推進、データサイエンティスト育成、アジャイル経営などが向かうべき改革に必要な重要と考えます。

さて、日経主要30業種の四半期毎発表の(1~3月)天気図によりますと、当協会『情報サービス産業』は金融や流通・製造・官公庁など幅広い業種でDX需要が続いており、受注は好調。積み上げてきた受注残高を着実に売上高につなげられる。また、人手不足による人材の獲得競争が起こり、採用費や人材費が増加し始めているが、当面は増収効果によって、コスト増を吸収できるとありますが...? 感染第8波の状況、不安定な世界情勢の中で、しっかりとこれらを注視しながら、舵取りをすることが求められます。

結びになりますが、日頃より県下の情報サービス産業の発展と協会活動に、ご支援ご協力を賜り、会員各社、関係機関、関連団体の皆様には、厚く御礼申し上げます。今年卯年であります。『長い耳は福を集める』といわれ、豊穰、飛躍の象徴でもあります。2023年が皆様にとりまして、輝かしい実りある豊かな一年となる事をご祈念申し上げまして新年の挨拶といたします。ありがとうございました。



大分市副市長 久渡 晃様



九州経済産業局情報政策課 課長 松本孝之様



大分県商工観光労働部 理事兼審議監 渡辺文雄様

## 特別講演会

### 演題 **英語が上手いとは何か**

日時：2023年1月18日(水) 16:20～17:40

場所：ソレイユ7階アイリスの間

講師：<sup>ひろつる まり</sup>廣津留 真理 氏 (ディリーゴ英語教室主宰)

#### プロフィール

- 大分市出身。早稲田大学 第一文学部卒業。
- 職業：株式会社 Dirigo 代表取締役／一般社団法人 Summer in JAPAN 代表理事  
／ディリーゴ英語教室主宰。バイオリニスト廣津留すみれさんの母。



### ●一人娘のハーバード大学入学を機に！

大学卒業後、海外に行って翻訳や商品サービスを日本に持ち帰るような仕事をしてきたことから、英語がスキルとして身に付いたため、大分で英語の指導を行っていた。

2012年、一人娘がハーバード大学に入学したことを機に、何かもう少し世の中に広く役に立つことをしようと閃き、株式会社 Dirigo (ディリーゴ英語教室) と一般社団法人 Summer in JAPAN という二つの団体を起業した。

### ●ひろつるメソッド、商圈が世界中に拡大！

ディリーゴ英語教室は、大分市内で教室を運営していたが、2020年3月コロナ禍の中、アメリカに出張して帰国した瞬間に、全部オンラインにした方がいいと閃き、すぐに全教室をオンラインに移行した。

これにより、商圈が首都圏や東京に拡がり、さらにはヨーロッパやアジア、アメリカに拡がった。地域による時差を克服するため、従業員を世界各地に配置することで、雇用方法にも工夫を行った。

### ●ハーバード生が講師陣のサマースクール Summer in JAPAN！

別府のお風呂に浸かっていた時、娘はハーバード大学に行くけど、私が何かするならハーバード生を大分に呼んでくれば良いと閃いた。アメリカの大学生は、夏休みにインターンシップに参加して、キャリアとスキルを積む。そこで、ハーバード大学にインターンシップ採用広告やホームページでのPRを行った。

現在は、1回12名の採用枠に100名位の応募があ



り、Googleでインターンしようと思っていた人たちや、卒業式の総代に出るような人たちが講師陣となり、参加した小中高校生のみなさんが、すごく満足している。

### ●英語が上手くなるには！

#### 1) 英語力とは

テスト力：高度な教養、高等教育を習得できる語彙力と応用力、単語の背景にある定義と関連分野を広く理解

コミュ力：オープンマインドで自信を持って相手に敬意をもって傾聴し、リーダーシップを発揮すること

情報力：情報を駆使して課題解決、文化を理解し愉しめる理解力を養う

#### 2) 人の行動や感情を動かす単語、make an impactを見つける

#### 3) 英語のコツは、英語は言語ではなく文化とマナー

### ●従業員の9割が外国人の仕事術！

私の企業では、従業員の9割が若い世代の外国人だが、柔軟な発想と視点があるため、私には思いつかないアイデアが出てくる大きなメリットがある。

外国人を雇用する際には、外国人の方に「この会社は良かった。こんなスキルが付いた。こんなことができるようになった」と感じてもらうこと。私も、その方の就職の際に、次の会社の方からの質問があれば必ず褒める。そうすると、本人のキャリア形成にすごく会社は役に立つし、辞めた後、噂を聞きつけて必ずその人は、他の人に私の会社を紹介してくれる、良いサイクルが出来上がる。

### ●私の著書 ぜひご一読を！

「成功する家庭教育 最強の教科書」

「今いる場所で突き抜けろ！」

「英語ぐんぐんニヤードリル」

(総務委員会)

## 新任役員紹介挨拶



新副会長 みとま ひろゆき  
**三笥 博幸**

【所属・役職】 西日本電信電話株式会社 大分支店 支店長  
【略 歴】 1974年 大分県大分市生まれ  
1995年4月 NTT 入社  
2010年7月 NTT 西日本 東海事業本部 設備部 担当課長  
2013年7月 NTT 西日本 設備本部 ネットワーク部 担当課長  
2015年7月 NTT 西日本 九州事業本部 設備部 部門長  
2018年7月 NTT 持株 技術企画部門 担当部長  
2021年7月 NTT フィールドテクノ 設備本部 部門長  
2022年7月 NTT 西日本 大分支店 支店長

【趣 味】 人付き合い（笑）

【ご挨拶】 大分生まれ、大分育ち、終の住処も大分に構える生粋の大分人です。折角の場と縁ですので、大分県の情報サービス産業の発展に向け皆さまと一緒に邁進していく所存です！



新理事 ながみつ ひろき  
**長光 宏樹**

【所属・役職】 東芝デジタルエンジニアリング株式会社 取締役大分事業部長  
【略 歴】 1968年 東京都調布市生まれ  
1991年 株式会社東芝入社  
2002年 東芝ソリューション株式会社資産譲渡で転籍  
2022年 東芝デジタルエンジニアリング株式会社 現職

【趣 味】 スポーツ観戦

【ご挨拶】 魅力度や期待度の高い大分の地で、新事業の創出や更なる情報サービスの発展に向け微力ながら奮闘してまいりますので、何卒よろしく願いいたします。



新理事 よこお つねひさ  
**横尾 経文**

【所属・役職】 大分交通株式会社 情報システム営業部 部長  
【略 歴】 1967年 大分県大分市生まれ  
1989年 大分交通株式会社 入社  
2020年 同 保険・広告事業部 部長  
2022年 現職

【趣 味】 スポーツ観戦、時にゴルフ

【ご挨拶】 今回、吉田前理事の後任として理事を拝命いたしました。大分の情報サービス産業の発展に微力ではありますが尽力したいと考えております。何卒よろしく願いいたします。



新理事 かい かずよし  
**甲斐 一義**

【所属・役職】 大銀コンピュータサービス株式会社 代表取締役社長  
【略 歴】 1963年 大分県大分市生まれ  
1985年 株式会社大分銀行 入行  
2022年 株式会社大分銀行 退職  
2022年 大銀コンピュータサービス株式会社 入社・現職

【趣 味】 ランニング、ゴルフ

【ご挨拶】 情報サービス業界に職を得て間がなく微力ではありますが、大分県情報サービス産業協会の隆盛と業界の発展のために頑張っております。何卒よろしく願いいたします。

# 第34回「OISA 技術交流会」開催

日時：2023年2月15日(水) 13:30~17:00 場所：オンライン開催

OISA 技術交流会は、大分県の情報サービス関連技術の向上と発展、さらなる振興を目的に開催されています。

第1部は、業界の最新技術動向についての研究成果やノウハウを持つ講師による講演会、第2部は、大分大学から「研究シーズ」の発表ならびに会員各社の中堅・若手技術者が集った「技術研究会」の成果発表がおこなわれました。

昨年度に続きオンラインでの開催の中、28団体 108名の参加をいただき、活況を呈しました。

## 第1部 講演会

講演：大分県の宇宙への挑戦

講師：株式会社 minsora (みんソラ) 代表取締役社長 高山 久信 氏



高山 久信 氏

- ・大分空港はアジア初の水平型宇宙港（スペースポート）となる。専用ジェット機でロケットを高度1万メートルの上空まで運び、そこから水平に打ち上げる。
- ・大分県はヴァージン・オービット社と提携し、同社の小型人工衛星打ち上げのサービスを大分空港で展開する。さらに、シエラ・スペース社との提携により、宇宙往還機「ドリーム・チェイサー」のアジアでの着陸拠点をめざしている。
- ・宇宙港による経済波及効果として、打ち上げ開始5年間で約102億円（大分県試算）が見込まれており、その内の約56億円は観光消費効果である。
- ・宇宙関連ビジネスの柱の一つに衛星データを活用した製品・サービス開発の展開がある。宇宙を題材としたSTEAM教育や宇宙ビジネス人材育成講座等で宇宙人材の育成にも取り組んでいる。

## 第2部 技術研究会発表会

大学研究シーズ発表：リアクティブプログラミングに基づくオープンな分散計算基盤の実現に向けた試み

講師：大分大学理工学部 准教授 紙名 哲生 氏



紙名 哲生 氏

- ・時間変化する値を抽象化し、それらの間の依存関係を宣言的に記述するプログラミング手法をリアクティブプログラミング（RP）といい、リアクティブシステムをデータフローとして記述できる。リアクティブシステムの身近な例としては、センサとモータの連携、GUI 部品のイベント処理といった時間変化する入力列の情報処理システムがある。
- ・IoT システムは、センサ等を用いた環境からの情報取得に対する応答を繰り返すという意味で、リアクティブな分散システムといえる。Java を拡張した RP 言語 signalJ を設計し、IoT システムのようなオープンな分散計算基盤の実現を試みている。
- ・課題としては、時系列データの扱い、分散環境における値更新の伝播があげられる。

## 技術研究会 部会発表



チーム Go!5!NoCode

1) ローコード、ノーコードの活用：チーム Go!5!NoCode

テーマ：「ローコード、ノーコード開発ツールで作成した各アプリの紹介」

「Google App Sheet」「Flutter Flow」を利用、開発視点に着眼してアプリを作成。

初心者でも取り組みやすいが、開発での制約やセキュリティ確保が難しいと感じた。

利用者に対してイメージを形として提供することで短い工期での開発が期待できる利点があり、プログラミングに依存しない開発として可能性を追求することができた。

2) ローコード、ノーコードの活用：チーム B

テーマ：「各ローコード、ノーコード開発ツールそれぞれの利点について」

「Google App Sheet」「Glide」「Bubble」を利用、サービスと機能性に着眼してアプリを開発。短納期でアプリ開発が可能、専門知識を必要としない、データベースやカメラ等の機能を活用できる、安定した品質で開発することが可能である一方、事前に各ツールの特性を把握して開発することが肝要であると認識できた。



チーム B

3) オープンデータの活用：オープンデータ部会

テーマ：「地域課題の解決につながるアプリ“リトコン(Little Convenient)”」

「大分で住んでいて感じる不便さ、あると便利なもの」をテーマにアイデアを出し、施設・習い事予約やイベント情報閲覧が可能なアプリ“リトコン”を考案。アプリを通して情報をオープンデータ化することで、地域活性化に結びつけるメリットが見出せると考え、大分市役所 企画部 情報政策課にご協力をいただき、意見交換も実施した。



オープンデータ部会

各部会とも纏まった理解しやすい発表内容となっていました。限られた時間の中で、会員各社の若いメンバーが集い、研究活動に注力し、自由な発想で、取り組まれたことは貴重な体験であったと思います。最後に佐藤委員長より講評とお礼を申し上げ、各部会の代表者に対して研究活動の労をねぎらいました。

(技術委員会)

# 第29回 OISA研修の実施

## ～ご参加ありがとうございました～

皆さまのご協力により、11月に2件の研修が無事終了いたしましたので、ご報告いたします。本研修はJISAの補助金を受けて開催しており、今回の令和4年度で29回目を迎えました。事前にOISA会員の皆さまが関心のある研修内容を確認するため、技術系と非技術系において開催可能な研修を候補としてアンケートを行ない、その回答を基に2件の研修を実施いたしました。技術系の研修では、DXや最新技術ではなく、初心に戻り基本的なIoT研修をオンラインで開催いたしました。非技術系の研修は常にアンケートでも人気のある「コミュニケーション」系で、行うことはすぐに決まりましたが、オンラインではなく集合形式で行いたいと考えておりましたので、終わりのみえないコロナ禍の波が、とても心配ではありましたが、無事に開催することができました。

### IoT研修(1日コース)

開催日：2022年11月18日(金) 参加7名(4社)

本研修は、IoTのサービスを企画検討される方、IoTシステムの構築を検討されている方に最適なコースということで設定しました。今では、すべてのモノがつながる時代の到来が叫ばれて久しいですが、センサー等の多くのモノから収集される情報はクラウドに集約され、ビッグデータとして分析され、新たな価値を利用者にもたらすようになってきています。そこで本研修では、Internet of Things (IoT)により実現される社会について紹介し、さらには最新動向を含む、IoTの関連技術を俯瞰し、簡易的なIoTシステム構築の実機演習をとおして体験していただきました。

受講者からは「IoTがどのようなものなのか漠然としていたものが、ある程度イメージできるようになりました」、「身近にあるIoT技術がどのような働きをしているのか分かった」、「演習時間をもっと増やして欲しかった」というご意見をいただきました。特にRaspberryPi(ラズベリーパイ)というセンサーデバイスを使ったプログラム演習は皆さんの関心を引いたようです。研修としては全体的に高評価をいただきました。

研修委員会は、これまでのOISA研修でオンライン研修を実践していたこともあり、今回もオンライン研修の最初と最後には挨拶させていただきました。次回の技術系研修はもっと多くの方に参加していただけるよう努力してまいります。



### 人を動かすコミュニケーション研修(1日コース)

開催日：2022年11月24日(木) 参加14名(6社)

本研修では、副題として「キーパーソンに働きかける編」となっており、ビジネスにおいて上司や部下、メンバーを動かして仕事を進める際に有用なコミュニケーションのノウハウを知り、ロールプレイングを通じて使える形にまで身に付けていただくことを目的としました。

受講者からは「内容を聞く時間、ワークをする時間、ワークの総括をする時間のバランスが良く、飽きずに研修を受講できた」、「他の会社の方と(仕事ではなく)話をする機会はあまりないので、軽い雑談を含めてグループ内でのワークが面白かった」、「コミュニケーション研修は複数回受けてきたが、気づきを忘れないように定期的に受講することも有益だと感じた」というご意見をいただきました。

研修委員会としては、会場でのコロナ対策を十分に行い、久しぶりの集合研修が活発に実施できたことが嬉しく思います。是非、このような活発な研修を次回に繋げていきたいと考えます。

今後ともご意見、ご要望をお待ちしています。

(研修委員会)



第31回

# サウンズコンテスト

日時：2023年1月21日(土) 13:30～17:30

会場：大分第2ソフィアプラザビル 第2ソフィアホール(2F)

ON THE COMPUTER

今年で31回目を迎えたサウンズコンテストOn The Computerは、1月21日(土)に大分市のソフィアホールで開催されました。

コロナ禍ではありますが、今年は有観客での通常開催となりました。去年のミニイベントでは残念ながら中止となったご当地アイドル「SPATIO」さんのミニライブですが、今回改めてお祝いし、無事開催することができました。

今年は全国から過去最高となる340曲のご応募をいただきました。その中から厳正なる予選を通過したフリー曲部門20曲、トリニータ応援歌部門・ふるさと応援歌部門5曲の合計25曲で本審査を行いました。

今年は、2年ぶりにコンテストの様様をYouTubeでリ



小野敬一協会理事  
挨拶



田村洋彦審査  
委員長講評

アルタイムのライブ配信を行うことができ、ライブ視聴者数は210名を超え、当日会場に来られなかった応募者など視聴者の方々にも大変喜んでいただきました。



審査員の皆様



SPATIO ライブ

審査結果については公式ホームページでも公開させていただき、当日ご来場いただけなかった受賞者には賞品と賞状をそれぞれお送りさせていただきました。

過去最多となる応募数の中で厳しい競争を勝ち抜き、みごとグランプリに輝いたのは、東京都の小出大和さんの作品“ReMAKER”でした。

## 審査委員

	氏名	審査歴	備考
審査委員長	田村洋彦	27回目	大分大学名誉教授(音楽科)・東アジア作曲家協会顧問
審査委員	渡邊裕美	3回目	電子音響音楽作曲家
審査委員	木梨あずさ	1回目	オペラ歌手 二期会会員 イタリアで活躍
審査委員	眞名井龍一	8回目	大分県情報サービス産業協会 事務局長

## 審査結果

賞	氏名	地区	タイトル
グランプリ	小出 大和	東京都	ReMAKER
フリー曲部門 一般1位	大塚 考浩	千葉県	Time Travel
フリー曲部門 一般2位	StManta	愛知県	プラムの実が生るころに
フリー曲部門 一般3位	眠りの精	福島県	諍い女
フリー曲部門 学生1位	Amika Yobuno	神奈川県	TRICK
フリー曲部門 学生2位	さかりよ	愛知県	夏音色
フリー曲部門 学生3位	のありず	大阪府	でいすとーしょん・らぶ
トリニータ応援歌部門 最優秀賞	大塚 考浩	千葉県	蒼き祈りカーメン
審査員特別賞	タールキング	愛知県	神楽

小出大和さんは今回の作品について、「自分の頭の中にある知識や理論を一度忘れて、シンプルでかっこいい音、曲を目指して制作しました。新しく挑戦するジャンルの楽曲なので何度もトライアンドエラーを繰り返し、自分の納得いくまでかっこいい音を追求しました」とコメントしています。

## トリニータ応援歌

今回も、大分フットボールクラブの後援による「トリニータ応援歌部門」を実施しました。どの曲も、J1 復帰を目指す大分トリニータにふさわしい、今年の奮起を期待する気持ちのこもった楽曲が印象的でした。

その中で最優秀賞に輝いたのは、千葉県の大塚考浩さんの作品“蒼き祈りカーメン”でした。大塚考浩さんはトリニータ応援歌部門で、なんと3年連続での受賞となりました。

この曲は、今春開催される今シーズンのホームゲーム開幕戦前に大分フットボールクラブへ贈呈される予定です。この曲は、向こう一年間、大分スポーツ公園総合競技場（レ

最後に、応募曲の編集、映像の編集、会場設営等で大変ご苦勞をおかけした日本文理大学関係者様、また、今回も多くの後援・協賛をいただきました各社様にも紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。  
(イベント委員会)



記念撮影

ゾナックドーム) で開催される大分トリニータのホームゲームのBGMとして使われることになっています。

観戦に行かれる方は、試合前に流される音楽にも是非ご注目ください。

## 第18回 OISA 親睦ゴルフ大会



2022年11月5日(土)、大分中央ゴルフクラブにて第18回OISA親睦ゴルフ大会が行われました。

総勢18名にご参加いただきました。優勝、準優勝は下記のとおりです。

	氏名	スコア	H.C.	NET.	会社名
優勝	柴尾 英樹	89	20.0	69.0	(株)三起電通
準優勝	佐藤 誠樹	99	28.4	70.6	(株)エイビス

(企画委員会)

## 第71回別府大分毎日マラソン

# 社会貢献活動参加

2023年2月5日(日)第71回別府大分毎日マラソン大会が3年ぶりに4,000人規模での開催となりました。晴天微風の好コンディションにも恵まれ、30キロ過ぎから動いたレースは大会記録や日本学生記録の更新をはじめ、6名がMGC出場権を獲得するなどハイレベルな結果となりました。

当協会からの給水ボランティア参加も今回で11回目となり、18社114名が参加しました。新型コロナウイルス感染予防のため声援を自粛する中、頑張る選手たちを2箇所の給水ポイントで給水と拍手で応援しました。  
(総務委員会)

